

## 資料保存 環境調査を行いました

### 捕虫トラップ



▲虫の中には、紙や布を食べてしまう害虫がいます。そうした害虫が収蔵スペースに生息していないかを調べるために、粘着トラップを仕掛けています。



### 真菌調査

▲資料にカビが生えると、破損や虫食いの原因になります。エアサンプラーという機械を使って空気中のカビの量を測定しています。

## 資料室の感染防止対策について

資料室は、感染防止対策をとりながら開室しております。

資料室利用者の皆様には、引き続き、感染防止のご協力をお願いいたします。

### 滞在時間の短縮に ご協力をお願いします

- 閲覧する二次資料は事前に検索システムをご利用下さい。
- 一次資料の閲覧は事前（3日前まで）に申請を行って下さい。
- レファレンス・調べ物は、窓口以外（電話・メール・FAX）をご利用ください。



### 閲覧席の数 を減らしています

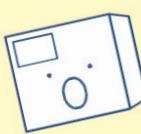
- 利用者同士の距離を一定程度保つため、閲覧席の間隔を広げています。
- 利用者間の飛沫感染を防ぐため、私的な会話はお控え下さい。



### 共用機器類の 利用停止 (または一部利用停止)

- 不特定多数の方が使用する機器の利用を制限しています。

### 最新の情報は HP・Facebookで



### 震災資料をお持ちの方に

人と防災未来センターでは、現在も震災資料の収集を続けています。「こんなものでいいんかな？」と、おっしゃる方も多いかもしれません。寄贈できるか分からないとお考えの方や、震災後、すぐには手放せなかったものの、震災の出来事を伝えるために活用したいとお考えの方など、悩んだ際には、ぜひ一度、資料室までご相談ください。

 (公財)ひょうご震災記念21世紀研究機構  
**DRI 阪神・淡路大震災記念 人と防災未来センター資料室**

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-5-2 人と防災未来センター西館5階  
TEL 078-262-5058 FAX 078-262-5062  
URL <http://www.dri.ne.jp>  
開室時間 9:30~17:30(展示施設とは時間が異なりますのでご注意ください)  
閉室日 毎週月曜日(月曜日が祝日又は振替休日の場合は翌平日)  
12月29日から1月3日



  
**阪神・淡路大震災記念  
人と防災未来センター**  
The Great Hanshin-Awaji Earthquake Memorial  
Disaster Reduction and Human Renovation Institution

 Vol. 73

2020年  
12月発行

# 資料室ニュース

人と防災未来センター 資料室企画展

## 災害時の感染症の拡大を防ぐ ～過去からの学び～

2020.12.15 [Tue] - 2021.5.30 [Sun]

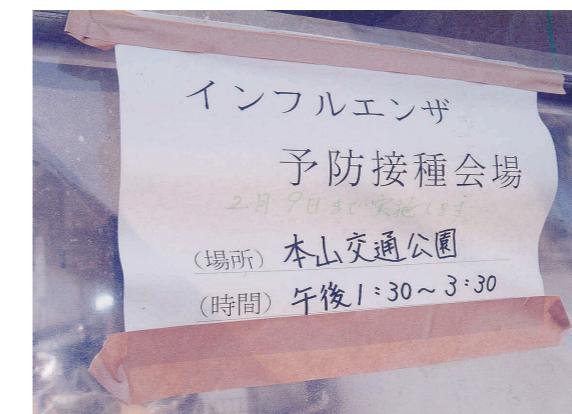
閉室日：毎週月曜日（祝日の場合は翌平日）・12月29日～1月3日

開室時間：9:30～17:30

場所：人と防災未来センター西館5階 資料室（無料エリア）

26年前の阪神・淡路大震災の時、避難所などでインフルエンザが流行しました。当時の感染状況や、実施された対策について、震災資料・関連図書とともに振り返ります。

また、他の大規模災害で流行した感染症についても紹介を行い、新型コロナウイルス感染症とのこれからの向き合い方を探ります。



臨時予防接種のようす  
資料番号 9000003-001008

**3D&VR**  
ひとぼうツアー《西館編》

コロナ禍により外出を控えている方や来館が困難な方に向けて、西館の展示物を見学いただける3Dビュー & VR映像を無料公開しております。是非ご利用ください。

▶▶ <https://www.dri.ne.jp/>

## インターンシップ internship

今年度資料室では、明石工業高等専門学校からインターンシップを受け入れました。

「ぼうさいみらい子ども文庫」のコーナー作成、書架整理、企画展の準備作業などの資料室業務を手伝っていただきました。

### 自己紹介

私は明石高専建築学科の4年生で、建築技術者を目指して勉強しています。また、明石高専防災団D-PRO135°の一員として、防災ゲームの制作や地域の減災活動に取り組んでいます。

防災に関する知識をさらに深めたいと考え、インターンシップに参加しました。貴重な震災資料を見たり、保存する作業も体験し、震災のことや資料を残す工夫などをより知ることができました。

私は阪神・淡路大震災当時は生まれておらず、資料を見たり、話を聞くことでしか知ることができません。今回の経験を活かし、いざれは震災を伝える側、災害から人を守る側に立てるよう努めてまいります。



インターンシップ生が  
オススメの資料を紹介

### 「過去を知る防災」

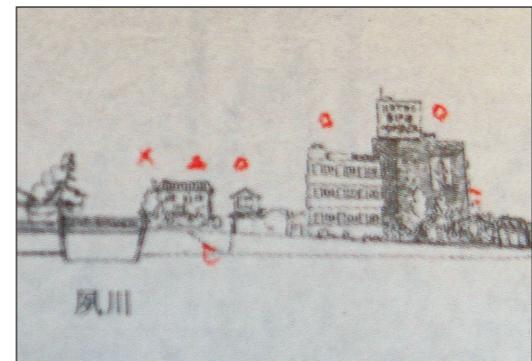
#### 阪神大地震図巻

資料番号 1200563-000057

震災後の街の様子を記録したものの中でも珍しい、絵巻の資料です。

作者は風景画が趣味で、震災の8年前に阪神西宮駅から元町へ至る沿線の景観を絵巻に描いていました。震災後、それがどのように変わったのか、再び描いたものがこの阪神大地震図巻です。被災地の惨状や、街並みを、流れる車窓のように見ることができます。

収蔵品はミニ複製ですが長さ7mもあり、原本は45mもあるそうです。



## 夏休み防災 未来学校

### おうちで体験！ひとつバックヤードツアー ～資料収蔵庫を見学しよう！～

震災資料専門員が人と防災未来センターのメモリアルセンターとしての役割や、保存している震災資料、収集方法や保存環境などについて、クイズ形式で紹介する動画を7月31日付けで公開いたしました。

毎年、たくさんの方が参加してくださっているのですが、今年はコロナウイルス感染拡大防止のためオンラインでの開催となりました。皆さんに震災資料の収集・保存をしているところを見て欲しいという思いから、動画を作成しました。

[配信URL] <https://youtu.be/2fTvJbBe7Z0>



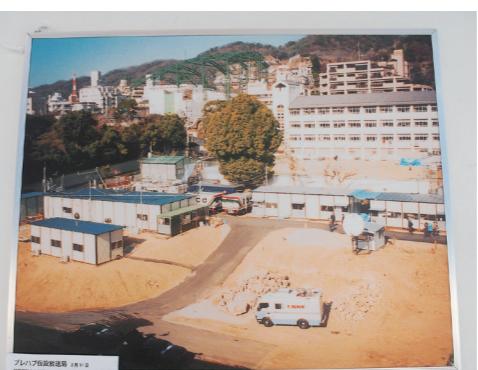
神戸海洋気象台に  
震度を確認した電話機  
資料番号：445-003006

### NHK職員が震災当時使用していた電話機

当時は、現在と違って気象庁の職員が体感で震度を計測していて、その震度を記者さんが直通電話を使い尋ねていました。電話の横にあるダイヤルをぐるぐる回して音が鳴ると、直通電話が利用できるという仕組みになっています。

### 写真パネル

阪神・淡路大震災で被災した当時のNHK神戸放送局の様子を写した小型カメラやプレハブの仮局舎で放送を継続していた時の様子が撮影されています。プレハブの仮局舎は、7月頃まで利用しており、神戸市立神戸諏訪山小学校を拠点として放送を行っていたそうです。



プレハブ仮設放送局  
資料番号：445-003004



神戸放送局3階 放送部  
居室を写す小型カメラ  
資料番号：445-003003

### 新着資料

### パイプオルガン完成記念飾り皿

阪神・淡路大震災により、甲南女子学園芦原講堂の正面テラスにあったパイプオルガンは、舞台上に崩れ落ちてしまいました。1999年に多くの人々の協力を得て補強を加え、再建されました。寄贈資料は、パイプオルガン再建の記念に、倒れたオルガンのパイプの一部を溶かして作られたもので、亡きオルガンへの鎮魂と、復活したオルガンの繁栄を祈願したものです。



パイプオルガン完成記念飾り皿  
資料番号：535-001001